

ひとり親家庭のみなさんを支援しています

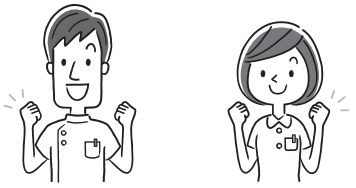
臨時相談窓口を設置します

- ▶**とき** = 8月8日(祝)10時~15時(受付は14時30分まで) ▶**ところ** = 教育支援センター(区役所6階)※当日、直接会場へ。
- ▶**内容**
 - 修学資金の相談
 - ひとり親家庭向け福祉サービスの紹介
 - 弁護士による養育費・面会交流などの法律相談(1人30分) など
- ▶**問** = 生活支援課ひとり親支援担当係 ☎3579-2234



ひとり親家庭 高等職業訓練促進給付金の対象を拡大しています

- 看護師・介護福祉士などの資格取得を支援する給付金の対象を拡大しています。対象・支給額など詳しくは、担当地域(区ホームページ参照)の福祉事務所にお問い合わせください。
- ▶**問**
 - 板橋福祉事務所総合相談係 ☎3579-2322
 - 赤塚福祉事務所総合相談係 ☎3938-5126
 - 志村福祉事務所総合相談係 ☎3968-2331



児童扶養手当などの現況届をご提出ください

- ▶**A児童扶養手当**
 - ▶**送付時期** = 8月上旬 ▶**提出期間・方法** = 8月31日(火)まで、受付窓口で面談し提出※ひとり親家庭等医療証をお持ちの方は、この届出で医療証の現況届を提出したものとみなします。
 - ▶**B特別児童扶養手当**
 - ▶**送付時期** = 8月中旬 ▶**提出期間・方法** = 9月3日(必着)まで、直接または郵送
- ▶**《A/Bいずれも》**
 ※提出がない場合、A11月分 B8月分以降の支給決定ができません。 ▶**提出先・問** = 子ども政策課子どもの手当医療係(区役所1階⑥窓口、〒173-8501) ☎3579-2477または赤塚支所住民サービス係(〒175-0092赤塚6-38-1) ☎3938-5113

芸術をあなたに

(公財)板橋区文化・国際交流財団

- チケットのお求め…電話または区立文化会館チケット販売窓口(☎3579-5666、9時~20時)。
- 公演内容のお問い合わせ…電話で、(公財)板橋区文化・国際交流財団(☎3579-3130、平日9時~17時)。

前売開始

- 新進音楽家フレッシュコンサート** (8月4日(水)前売開始)
 - ▶**とき** = 9月23日(祝)14時 ▶**ところ** = 区立文化会館大ホール ▶**出演** = クラシック音楽オーディション合格者 ▶**料金** = 500円(全席指定)

好評発売中

- 第43回童謡祭**
 - ▶**とき** = 8月28日(土)14時 ▶**ところ** = 区立文化会館大ホール ▶**出演** = たいらいさお ほか ▶**料金** = 一般2000円・小学生1000円(全席自由)

鑑賞無料

- ロビーコンサート**
 - ▶**とき** = 8月25日(水)12時20分~12時50分 ▶**ところ** = 成増アクトホール前 ▶**出演** = ハワイアングループ マルヒア ▶**曲目** = アロハオエなど ▶**定員** = 150人(先着順)※当日、11時30分から整理券を配付。



8月の映画会

□の下2けたの数字は映画製作年(西暦)
 ㊦…子ども向け ㊧…アニメ ㊨…字幕
 無印は一般向け

図書館名	内容・とき	図書館名	内容・とき
氷川 ☎3961-9981	トムとジェリー②(㊦・㊧)…28日(土)14時	西台 ☎5399-1191	私を野球につれてって(㊨・㊩)…28日(土)14時 ※申込：8月21日(土)朝9時から、直接または電話で、西台図書館
小茂根 ☎3554-8801	禁じられた遊び(㊦・㊧)…28日(土)14時		

※申込方法の明示がないものは、当日、直接会場へ。
 ※上映内容が変更になる場合があります。詳しくは、各図書館にお問い合わせください。
 ※いずれも第3月曜・月末日休館。ただし7月31日(土)は開館し8月2日(月)休館。

いたばし区民文芸 五月・六月分

歌壇 宇田川寛之選

▼**天** ふるさとの庭を彩る南天の朱の実に 偲ぶ母のかんざし 久保親二

▼**地** 折れること受け入れていたシャーペン の芯のごとくに復帰待つ吾子 伊藤恭一郎

▼**人** 公園にアリアを唱(うた)う女いてひと 節うたい上げいずへにか去(い)ぬ 斉藤征夫

▼**評** 天賞、故郷の南天の実を見ていと亡き母のかんざしが思い出されるのだ。庭にしばしば佇む作者の姿が浮き上がってくる。地賞、比喩が印象的。このような時代だからこそ「復帰」に親の思いが籠もる。人賞、描写に徹した一首。公園でのアリアの一節が何とも謎めいている。

俳壇 中村和弘選

▼**天** 春愁や父の時計の止まりをり 北嶋仲雄

▼**地** 花は葉に小籠包の蒸し上がる 西島晃彦

▼**人** 新緑や古代城主の碑を拝む 猪瀬尚志

▼**評** 天賞、亡父の愛用していた時計が、止まったまま。春愁もさらに深まる。地賞、桜が散り葉桜になりつつある季節、店頭で蒸している小籠包の匂いが漂い食欲をそそる。人賞、城跡か、新緑の中古代の城主の碑がひっそりと立つ。ふと拝んでしまった。

川柳 尾藤川柳選

▼**天** 秒針の規則正しき不眠症 西島信子

▼**地** 親離れ子離れできぬ鯉のぼり 久保親二

▼**人** ウイルスと並走つづく聖火隊 朝田明己

▼**評** 天賞、楽しき時は時間は速く、辛い時には遅く感じるものだが、「規則正しき」に作者のジレンマを感じる。「時」というもの不可思議さ。地賞、親子の距離感が持てないのは親側の問題という少子化社会の一面。何時までも鯉幟をポールに括りつける事はできぬ。人賞、目の前の時事。五輪開催の是非とともにコロナ禍との絡みが分断の悩み。

▶**《おたのしみ》**
 ▼**申込・問** = 8月1日(必着)まで、はがきに部門(短歌・俳句・川柳の別)、作品(1人1部門1作品で未発表のもの)と必要事項(申込記入例4面参照)を明記のうえ、(公財)板橋区文化・国際交流財団(〒173-0014 大山東町51-1) ☎3579-3130 ※文字は楷書で丁寧。漢字にはふりがなも明記。※入選作品の他誌への投稿はご遠慮ください。